



ロケットはどうして飛べるの

真上に飛んでいくロケット

飛行機は横向きに飛んでいきますが、ロケットは、真上に向かって飛んでいきます。これは、かなり力のあるロケットエンジンが、ロケットのボディの真下についているから、できることなのです。ロケットエンジンが、ガスを下に向けてふき出します。すると、その反動で、ロケットが上にもち上げられるのです。こうしてロケットは、上に向かって飛んでいくことができるのです。

ロケットが飛べるのは、あの重いロケットを、真上にもち上げることができるほど強力な、ロケットエンジンのおかげというわけです。

ロケット推進剤で飛んでいく

飛行機は、エンジンを動かす燃料を燃やすために空気中の酸素が必要であり、空気のないところでは飛べません。しかし、ロケットは、燃料と酸素をふくむロケット推進剤を積んでいるので、空気のない宇宙でも飛べるのです。つまり、宇宙にまで飛び出すことができるのは、空気のない宇宙でも、ロケットエンジンを噴射できるように、燃料といっしょに酸素も積んでいるからなのです。（監修・青木 国夫）

